

6月定例会は6月1日から6月23日までの23日間の会期で開かれ、市長提出議案22件と、議員提出議案2件、請願1件が提出され、いずれも可決・同意・採択しました。また、2議案に対し延べ7人が質疑しました。

4日間にわたる一般質問では、18人の議員が活発な論戦を展開しました。

令和2年
6月定例会
6月1日～
6月23日

～新型コロナ緊急要望書を提出～

市議会では、令和2年3月定例会において、「新型コロナウイルス感染症対策のさらなる充実を求める意見書」を市長に提出しました。しかしながら、その後も感染拡大に歯止めがかからず、経済・雇用、医療体制の支援は時間との闘いであることから、国の対策を待つことなく、迅速かつ柔軟に実施するよう、4月17日に「新型コロナウイルスから市民の生活を守る緊急要望書」を市長に提出しました。



▲4月17日緊急要望書を菅原市長へ提出

- 1 財政調整基金等の活用により、業績が急激に悪化している市内の中小企業等に対しては、給付金の支給や無利子・無担保の融資を、また、生活に困窮している世帯等に対しては、給付金の支給等を速やかに行うこと。
 - 2 ハローワーク等との連携により、失業者や内定取消しを受けた学生等に対する就業相談を強化すること。
 - 3 市内における新型コロナウイルス感染者の増加に備えて、埼玉県並びに蕨戸田市医師会と連携し、発熱外来の設置や軽症者等を隔離する施設の確保に努めること。
- 以上、3点について手塚議長から菅原市長へ要望書を提出しました。



▲議会傍聴でも手話通訳者をご利用いただけます
※事前連絡が必要です

◆手話言語条例（新規条例）
手話に対する理解の広がりや深まりが求められるようになったものの、いまだに手話に対する理解が十分に深まっているとは言えない状況です。そこで、市民一人一人が手話は言語であることを理解し、手話を送る必要がある環境を整え、すべての市民が支え合う地域社会を築いていくことを目指し制定するものです。

主な議案の質疑

手話言語条例を全員一致で可決

令和2年 5月臨時会

5月1日

新型コロナ対策に関する補正予算などについて審議するため、5月臨時会が5月1日に開かれ、市長提出議案等11件が提出され、いずれも承認・可決しました。

本臨時会では、特別定額給付金等を支給するための補正予算の他、市内経済への影響を考慮し、経済・雇用、生活支援、感染症予防を柱とする「戸田市新型コロナウイルス対応緊急支援パッケージ」についての報告がありました。また、感染拡大防止の観点から、議場の座席の間隔を空けて開催されました。

主な議案の質疑

- ◆一般会計補正予算（専決処分）**
「戸田市新型コロナウイルス対応緊急支援パッケージ第1弾」に係る経費について、専決処分したものです。
- Q** 防災減災基金から1億円を取り崩すに至った経緯と根拠は。



▲議席を変更し、席の間隔を空けて開催されました

- A** 感染拡大を市民の生命をおびやかす災害と捉え、防災減災基金を活用した。「災害に強いまちづくり」を推進するために実施する防災又は減災の事業の資金に充てる」とする基金の趣旨にも合致するに伴うものです。
- ◆一般会計補正予算**
国の特別定額給付金事業の実施に伴うものです。
- Q** 給付金の周知方法は。
- A** 市ホームページや広報紙に掲載し、外国人へはホームページの多言語利用や、外国人市民相談窓口との連携を想定している。高齢者、障害者等へは、支援機関への情報提供を行い、ケースに合わせた対応をする。

- Q** 市が目指す社会像は。
- A** 今回の制定により、行政や市民、事業者の役割を明らかにし、手話を送る必要がある環境を整え、すべての市民が共生できるまちを目指す。

- ◆一般会計補正予算**
「戸田市新型コロナウイルス対応緊急支援パッケージ第2弾」の実施などに伴うものです。
- テイクアウト補助金**
2400万円

- Q** 事業の詳細は。
- A** 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、家庭での食事や市内飲食店がテイクアウトやデリバリーにより販売する飲食物を半額で提供した場合、1店舗当たり25万円を上限に値引き分を補助する。



※キャンペーンは7月末で終了しています

- Q** どのような緊急経済・雇用対策効果につながるのか。

- A** ①厳しい経営状況にある飲食店の売上げ向上につながる②収入減少などにより家計が苦しくなっている家庭の生活を支えることにつながる③店内での3密を避け、感染機会を減らすなど、新しい生活様式の普及定着につながる。